

“いっしょうけんめい がんばる” 神原っ子 ～一人一人のよさが輝く学校～



つぼみ桜

神原小学校だより
令和7年度 7月号



「かみはら PRIDE」の醸成を



早いもので1学期も締めくくりの月を迎えます。子どもたちは日々の学習や生活の中で、大きく成長しています。この時期にお子様と一緒に1学期の頑張りを振り返るとともに、夏休みに向けた準備をしっかりと進めていただければと思います。

さて、先日、昨年の日本の出生数が統計開始以来初めて70万人を下回り、女性1人が生涯に産む子どもの推定人数「合計特殊出生率」も1.15で、過去最低を記録したというニュースが報じられました。山口県においては、昨年の出生数は7千人を下回り、今後25年間で人口が30万人減ると予測されています。人口減少、人口流出は県政の最重要課題となっており、「地域の担い手」の育成が急務になっています。

このような中、山口県教育委員会は「やまぐち PRIDE」という、キャリア教育推進のためのキャッチフレーズを打ち出しました。「やまぐち PRIDE」とは、「ふるさと自然やひと、伝統文化を大切にする気持ち、ふるさとや住んでいる地域のコミュニティづくりなどに主体的に参画しようとする心意気、つまり、ふるさと山口の未来を創る心意気のこと」と定義されています。

本校においては、これまでも地域や保護者の皆様からの温かいご支援により、充実した地域連携活動を行ってきました。しかし一方で、校区の特性も影響してか、子どもたちの地域への愛着や貢献意欲については課題があると感じています。そこで、今年度は、「神原への誇りをもつ～将来の神原を支える子に～」という視点を大切にしながら、地域連携活動をさらに発展させていきたいと考えています。

将来の地域の担い手である子どもたちが、そこに住む大人と活動を共にし、思いや願いにふれることは、感謝や憧れの気持ちをもつこと、ふるさとへの愛着の高まりにつながります。夏休みはその絶好の機会ですが、学校でも「大人の学び」の場を積極的に設定しているところです。これまで、学校と疎遠になっておられた地域の方々も、ぜひ神原小学校に足を運んでいただき、子どもたちと交流を深めながら「かみはら PRIDE」の醸成にお力添えをいただければありがたく思います。

校長 大中 正浩



<コミュニティ・スクールの取組>

地域の皆様、保護者の皆様、いつもありがとうございます！

読み聞かせ

今年度から毎月1回、読み聞かせをしています。



新体力テスト

新体力テストの測定のお手伝いをさせていただきました。



まちたんけん

2年生のまちたんけんの引率や見守りをさせていただきました。



学校閉庁日

夏季休業中は、土、日、祝日に加え、8月12日(火)～8月15日(金)の4日間が学校閉庁日となります。緊急時は、宇部市教育委員会学校教育課へ連絡をお願いします。(34-8611)

